

調査者	岡本 祥吾
情報ソースの刊行日	2020年3月17日
情報ソースの調査日	2020年5月20日
日本理学療法士学会 HP に公開された日	2020年5月21日
日本語タイトル	SARS-CoV-1 と比較した SARS-CoV-2 のエアロゾルと表面安定性
情報ソース	The New England Journal of Medicine
情報のカテゴリー	物体における Covid-19 生存期間
発信地域	アメリカ
DOI	10.1056/NEJMc2004973
URL	<a href="https://www.nejm.org/doi/full/10.1056/NEJMc2004973">https://www.nejm.org/doi/full/10.1056/NEJMc2004973</a>
要約	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ SARS-CoV-2 および SARS-CoV-1 における 5 つの条件(エアロゾル、プラスチック、ステンレス、銅、ダンボール)での生存期間についての報告がされている。</li> <li>・ 両ウイルスの生存期間が 72 時間以上を認めたのは、ステンレスとプラスチックであった。また、SARS-CoV-2 の半減期は、ステンレスで約 5.6 時間。プラスチックで約 6.8 時間とされている。</li> <li>・ エアロゾルは、3 日間生存。</li> <li>・ 銅のウイルスの検出は、4 時間以上で認められず。段ボールに関しては 24 時間以上で認められなかった。ただし、段ボールに関しては、実験でのばらつきが多く注意が必要とされている。</li> <li>・ 院内感染の拡大と超拡散イベントと関連しているとされている。</li> </ul>
最も注目するポイント 理学療法にどのように役立つか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 標準予防対策としてのリハビリ機器等の使用されることが多いステンレスやプラスチックのウイルス生存期間を再認識することで消毒を徹底する。</li> <li>・ 医療従事者が媒介者にならないようにし、感染リスクを下げることができる。</li> </ul>